

- ◆ 夢洲では2025年大阪・関西万博の開催に向け、会場整備やインフラ整備等の建設工事を円滑に行うため、工事車両の渋滞対策や作業員の円滑な移動などに取り組む必要がある
- ◆ グリーンフィールドである夢洲を実証の場に、最先端技術の活用による、**建設工事の安全かつ円滑な実施**を通して、QoLを高める技術の創出を推進し、万博及び将来の夢洲のまちづくりに活かしていく

夢洲建設プラットフォームの構築

工事現場内外の移動の円滑化

- ・ ICT技術による一元的な工事車両の運用管理
- ・ ICT技術による島外からの作業員用シャトルバス運行管理
- ・ AIを活用した現場内外の移動用おデマンドバス運行管理

工事現場への入退場等の円滑化

- ・ 顔認証システムの導入による作業員の入退場管理
- ・ 作業現場のキャッシュレス化

資材運搬・工事の円滑化

- ・ ドローンによる資材運搬（夜間自動運転）
- ・ 人とモノの同時搬送（貨客混載）
- ・ ドローンの遠隔操作による現場管理

作業員の健康管理の円滑化

- ・ バイタルデータ計測による健康一元管理（熱中症予防等）
- ・ 専属産業医の遠隔化、薬局外からの服薬指導

※各項目の取り組み内容は例示



建設工事で実現した技術やサービスを万博や夢洲まちづくりでも発展的に活用